

3 地域に開かれた 花王和歌山工場の 実現に向けて



花王株式会社 和歌山事業場 広報担当

佐久間 正



1. 広報の役割と情報の重要性

花王和歌山工場が広報機能をもつことになり、2019年夏に本社広報部から自宅のある和歌山に戻ってきました。あらためて、「企業/工場における広報の役割とは何か」と考えたとき、"情報"の力で企業価値を向上させることが、広報の役割の1つにあると思います。"情報"をどう伝えるかがとても重要で、①情報を発信し、②発信した情報を相手に伝えて理解してもらい、③その結果、その情報が広く拡散されていくことで、初めて情報が意味あるものとなります。

また情報に関しては、近年の情報通信技術の 急速な進化、普及、発達に伴い、インターネット web メディアや SNS(フェイスブック、ツ イッター、ユーチューブ、インスタグラム)な ど情報発信の手段は多様化し、今では誰もが情 報発信/受信することができるようになってい ます。さらに、情報拡散するスピードが高速化 し、これまでの新聞・雑誌・テレビ・ラジオな どのマスメディアに匹敵する影響力を持ち、ポ ジティブな情報もネガティブな情報も一気に広 がるという特徴を持っています。

そのため、広報活動する場合には、これまでのマスメディアに加えて、インターネットwebメディアや SNS をうまく活用していくことが広く情報を拡散することに繋がります。

こうした情報の重要性から、今、花王和歌山 工場が特に力を入れているのが、「地域に開か れた工場」の実現をめざした活動です。工場の 日常活動、社員の息吹が感じられる活動を積極 的に情報発信して社外に明らかにしていくこと です。

以下に、先ず花王と花王和歌山工場の概要を 説明して、最近の和歌山工場の活動事例につい て紹介します。

2. 花王と花王和歌山工場の概要

花王石鹸(1890年に国産初の顔も洗える高品質の化粧石鹸を発売、社名の由来にもなっています)が誕生してから、2020年で、およそ130年になります(*花王の創業は1887年(明治20年)になります)。今日も、創業当時からの「世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティに貢献する」という社会貢献の企業理念を受け継ぎ、徹底した研究・商品開発による消費者ニーズに根差した"よきモノづくり"を通じた社会的課題解決に取り組んでおります。

●花王和歌山工場(図 1)

花王グループは、生産および供給拠点として、 現時点では国内 10 拠点、海外 28 拠点よりお 客様に製品を提供しています。



図 1 花王和歌山工場の外観

その中で、グローバルマザー工場としての役割を担う和歌山工場は、同社最大の拠点です(図1)。従業員約2,000人が働き、一般消費者に向けた製品として、衣料用・住居用洗剤、ヘアケア・スキンケア・オーラルケアなどの家庭用製品、消毒液などの衛生関連製品などと、産業界に向けた製品として、カラートナー、アスファルト改質剤などの工業用製品など、花王の国内年間生産量の約半分を占める規模の製品を製造しています。これらの製品を通じて、持続可能な社会における豊かな生活文化の実現に貢献していきます。

また工場内には基盤技術、商品開発などの研究所があり、全社の研究開発スタッフの4分の1が集結し、花王の最先端研究の中枢拠点でもあります。

3. 地域に開かれた工場の実現をめざした 和歌山工場の活動事例

「地域に開かれた工場」の実現をめざして、 工場が取り組んでいる最近の活動で、テレビ、 新聞、雑誌などで取り上げられた活動や花王 フェイスブック、ツイッターなどから情報発信 した活動の中から、いくつか紹介します。

3-1 コロナ禍における新しい工場運営と働き 方への取り組み

2019年12月に端を発した新型コロナウイルスが猛威を振るう中、その感染症対策として花王では、マスク着用、手洗い/アルコール消毒の徹底などの「社内感染対策」、「衛生関連製品の増産対応」、「衛生関連情報の提案」の3つの取り組みを実施しています。今後も日常生活を取り戻すために、また将来の感染症に備えるために、これまでに実施してきた対策を徹底させたうえで安全と健康を守りながら事業活動を進め、衛生関連製品をお客さまにお届けできるよう、これからも取り組んでまいります。

特に、衛生関連製品を生産・供給している和歌山工場では、当初より場内ハード面、ソフト面において積極的な感染対策を進めてきました。手洗いや手指消毒、マスク・フェイスシールド着用徹底はもちろんのこと、デスク・作業場周り・共用エリアの飛沫防止板設置(図 2)からはじまり、食堂、独身寮、更衣棟や駐輪場など人が"密"にならない様に再配置を行ってきました(図 3)。



図 2 飛沫防止板を設置したオフィスの様子



図3 ソーシャルディスタンスの確保とパーテーションを設置した食堂の様子(食事中の会話は控える)

また、働き方も変化しつつあります。製造現場では、濃厚接触を回避する為、エリア間の移動を制限し、交代勤務班どうしの申し送りを別室間のリモート会議システムを用いて行っています。オフィスでは在宅勤務を取り入れた「リモート」(一般的にテレワーク)が日常会議に活用されています。

さらに工場見学への「リモート」活用も試行中で「安全・安心」に花王の活動を理解してもらえるよう早期実現をめざしていきたいと考えています。

3-2 工場の安全・安定操業への取り組み

地域に開かれた工場をめざすためには、工場の安全・安定操業は欠かせません。花王和歌山工場では、製造設備の安全・安定生産運転をより一層向上するために、人では気づかない設備

の異常状態を予兆検知させる為、AI(Artificial Intelligence)、IoT(Internet of Things)の導入およびドローンを活用した先進技術の導入に取り組んでいます。今回、和歌山工場におけるこうした取り組みに関して、スマート保安技術の実用事例の1つとして、工業計測技術の専門誌「計測技術7月号《特集:スマート保安の現状》」(2021年7月発行)で紹介されました。

3-3 地域社会との交流、社会貢献活動を通じてのコミュニケーション活動

工場で発行配布している広報誌「かけは し」の活動

2018年から工場近隣の地域住民約1,000世帯および協力会社に向けて、工場からの広報誌「かけはし」を発行配布しています(A3判カラーで、2月と8月の年2回発行)。工場で行っている"安全・防災活動"や"地域交流"、"社会貢献活動"、"地域からの問合せ内容とその対応結果のフィードバック"などを紹介して、地域と工場の双方向のコミュニケーションが図れるように取り組んでいます(図4)。



図4 かけはし第6号抜粋(2021年2月発行)

2) 水軒川清掃活動

和歌山工場の正門前を流れている水軒川は、 11世紀頃は、紀ノ川の主流であり、明治から 昭和にかけて紀州材などの貯木場として賑わっ ていました。この水軒川の清掃活動は"魅力あ る地域づくりに取り組もう"と近隣自治会様が 主催する活動で、2015年から花王も参加し、 7月と12月の年2回実施しています。2020 年は、新型コロナウイルス感染防止のため7 月の清掃活動は中止となりましたが、12月に は活動人数を制限し(近隣自治会様:約30人、 和歌山工場に勤務する社員:約50人が参加)、 清掃するエリアも縮小して、川の両岸の河原や 川沿いの道路のゴミを拾ったり草刈りを行いま した(図5)。



図5 水軒川清掃活動の様子(2020.12月実施)

3) 環境保全活動

「京都から和歌山工場に桜の木を移植」

"桜守"として知られ、花王とはかねてより 親交のあった第16代佐野藤右衛門さんが、自 ら大切に育てた桜の成木3本「京都円山公園 の名木"祇園枝垂れ桜"の直系にあたる由緒あ る桜の成木(樹齢25~30年)1本と"(珍し い紅色の)紅大島桜"の成木(樹齢20~25年) 2本」が、和歌山工場の食堂中庭に移植されま した(2021年1月21日)。

移植にあたっては、本来であれば藤右衛門さんが和歌山工場に来られて、土づくりや桜の木の向きなどの作業を直接ご指導戴くところでしたが、コロナ感染予防のため、京都からリモートで指示を受けながらの作業となりました。そして、3本ともめでたく3月19日満開の花をつけてくれました(図6)。

和歌山工場のシンボルとして大切に見守っていきます。



図 6 和歌山工場の食堂中庭に移植された "祇園枝垂れ桜"の開花の様子 (満開日: 2021.3.19)

4) 和歌山市 SDGs 未来都市の実現に向けた 取り組みへの協力

2019年7月、和歌山市がSDGs(Sustainable Development Goals、国連の持続可能な開発目標)未来都市に選定され、2020年1月に、SDGsの活動に積極的な企業・団体とのパートナーシップを深めるとともに、SDGs達成に向けた取り組みを推進していくためのプラットフォームとして「和歌山市SDGs推進ネットワーク」が設立されました。

花王和歌山工場もこの推進ネットワークに参加登録し、積極的に和歌山市の地域活性化と SDGsの目標達成に向けて、協働での取り組み を進めているところです。

さらに、2020年10月には、和歌山市と花 王がSDGs 推進に関する連携協定を締結*1)し、 プラスチック循環社会をはじめとした、持続可 能な社会の実現に向けた活動も始まっていま す。

また、和歌山市主催の男性の子育て参加を推 進するためのテレビ和歌山特別番組「和歌山市 イクボス推進特別番組~ボスが変われば職場が 変わる そして家庭が変わる~(図7)」**2)では、子育て支援課から和歌山市の取り組み紹介のあと、子育て支援に取り組んでいる企業事例の1つとして、花王が紹介されました。花王の育児両立支援制度や男性の子育て参加を促進するための取り組みの紹介(育児休職取得を促すリーフレット配布、情報交換、講演会など)と実際に育児休職を取得した社員2名の紹介があり、社員からは、"育児休職を取りやすい職場環境で、実際に取得してよかった"とのコメントもありました。

*この特別番組は放映後、現在、和歌山市公式 YouTube チャンネルで視聴することができます。



図7 和歌山市公式 YouTube チャンネルでの掲載画面

4. 地域に開かれた花王和歌山工場の実現に向けて

花王和歌山工場の山口浩明工場長は、「こうした取り組みの実績をひとつ1つ積み重ねていくことが大切です。来年2022年、花王和歌山工場は設立80周年を迎えます。安全を第一に、これまでも、これからも、地域と共に人・製品・コミュニケーションを通じて、地域から愛される工場をめざしていきたい」とコメントしています。

今後も、地域に開かれた花王和歌山工場の実現に向けて、工場と広報が連携・継続して、情報発信活動に取り組んでいきたいと思います。

《参考資料》

**¹⁾ 和歌山市と花王が SDGs 推進に関する連携協定を 締結(2020年10月21日)

【和歌山市記者発表資料】

http://www.city.wakayama.wakayama. jp/_res/projects/default_project/_ page_/001/029/124/20201021-2.pdf

【花王ニュースリリース】

https://www.kao.com/jp/corporate/news/sustainability/2020/20201021-001/

**2) テレビ和歌山特別番組「和歌山市イクボス推進特別番組~ボスが変われば職場が変わる そして家庭が変わる~」

この特別番組は、現在、和歌山市公式 YouTube チャンネルで視聴することができます。

見やすいように、下記のように番組内容を3分割 して掲載されています。

① 6分37秒

https://www.youtube.com/watch?v=MdtZ4N7ygnQ

② 11分40秒

https://www.youtube.com/watch?v=LTaiJCpyglo

③ 10分38秒

https://www.youtube.com/watch?v=pUBWjQr4wZc